

EU Indicators

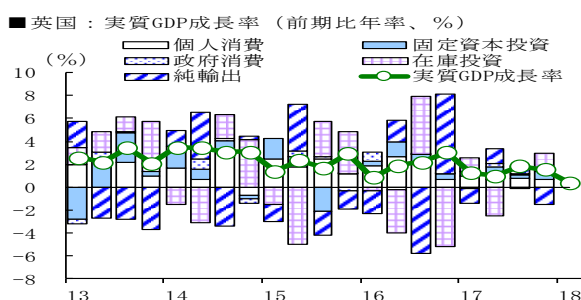
欧州経済指標コメント：1-3月期英国GDP速報値

発表日：2018年5月1日(火)

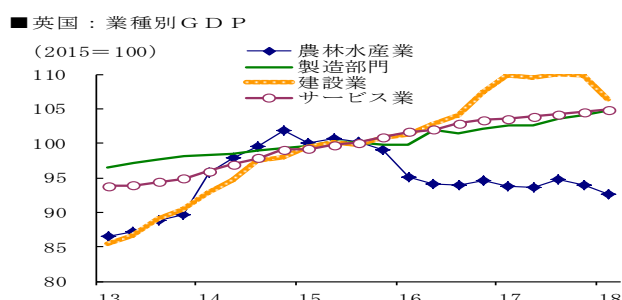
～寒波だけではなさそうな景気減速～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 4月27日に発表された1-3月期の英国の実質GDP成長率の速報値は、前期比+0.1%、同年率+0.4%と前期（同+0.4%、同年率+1.6%）から大幅に減速した。速報段階で入手可能な業種別の内訳は、建設業（昨年10-12月期：同▲0.1%→1-3月期：同▲3.3%）と農林水産業（同▲1.0%→同▲1.4%）が2月下旬から3月初旬にかけての寒波の影響で落ち込んだ。製造部門全体（同+0.4%→同+0.7%）では成長ペースが加速したものの、これは石油パイプライン事故の影響で前期に大きく落ち込んだ鉱業・採掘業（同▲4.9%→同+3.5%）のV字回復や、暖房需要の増加による電力・ガス供給（同▲0.4%→同+2.3%）の増加が押し上げ要因として働いた。他方、世界的な好景気に後押しされてきた製造業（同+1.3%→同+0.2%）の成長ペースに急ブレーキ。サービス部門全体（同+0.4%→同+0.3%）ではやや鈍化したものの、前期並みの成長ペースを維持。内訳は、企業向けサービス・金融業（同+0.6%→同+0.4%）や輸送・倉庫・通信（同+1.1%→同+0.4%）が増勢を維持した一方、小売業を中心に卸小売・宿泊・外食（同▲0.1%→同▲0.1%）が天候不順の影響もあり減少した。
- 全体として天候要因は僅かに成長率の押し下げに働いたが、こうした点を考慮しても成長ペースの鈍化は明らか。成長鈍化はBOEの想定（3月の前回MPC時点で1-3月期の成長率は前期並みで推移していると判断していた）を上回り、5月10日に結果が判明するMPCでの追加利上げは見送られる可能性が一段と高まった。なお、速報段階のGDPは3月の月次計数の多くを仮置きして作成されており、3月上旬まで寒波が続いた点に鑑みれば、5月25日に発表される一次改定値や6月29日の二次改定値では通常の四半期よりも改定幅が大きくなる可能性がある。



出所：英統計局



出所：英統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
16/1-3月期	6.0	0.8	(2.8)	2.8	3.9	3.0	(▲7.0)	(▲1.9)	▲5.9	0.9
16/4-6月期	4.8	1.9	(0.1)	4.2	▲1.0	8.2	(▲11.3)	(1.9)	▲11.7	4.1
16/7-9月期	4.5	2.2	(8.0)	3.2	0.1	4.4	(0.2)	(▲5.8)	▲7.0	13.9
16/10-12月期	5.3	3.0	(▲4.0)	1.1	0.1	2.7	(▲7.9)	(7.0)	▲22.6	▲3.9
17/1-3月期	3.4	1.3	(2.5)	1.5	▲0.6	2.6	(▲1.1)	(▲1.3)	▲0.6	3.7
17/4-6月期	2.3	1.0	(▲0.4)	1.1	1.3	6.9	(▲9.6)	(1.4)	▲7.7	2.4
17/7-9月期	3.8	1.9	(1.2)	1.2	▲0.3	2.0	(▲1.7)	(0.7)	7.6	4.9
17/10-12月期	2.8	1.6	(3.0)	1.0	1.8	4.4	(▲4.2)	(▲1.4)	▲3.4	1.4
18/1-3月期	—	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—

出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。